



車内の金城学院大学

43限目

「古典文学講義」

## 「紫式部は「もののけ」の正体を暴いた!？」

### 〔紫式部の魅力〕

平安時代、不可解な出来事の多くは「もののけ」と呼ばれる悪霊の仕業と信じられ、人々に恐れられていました。しかし同じ時代、それを違う視点から解釈したのが、源氏物語の作者である紫式部。紫式部は自身の和歌の中でも、もののけを「自分の心の中にいる鬼」と表現していますが、うしろめたさを持っている人や心の弱った人が、不安や恐怖をもののけと錯覚したと考えたからに違いありません。誰もがもののけの存在を信じていた千年も昔に、紫式部は、人の罪悪感や恐怖心が存在しないものを見せてしまうのだ、と実に心理学的な解釈をしていたのです。「源氏物語」が時代を超えて愛されているのも、人々の心情や行動を深く洞察する視点に溢れており、千年を経てなお、私たちに様々な発見をもたらしてくれるからなのです。

文学を通して、人の心と向き合う。それが文学部 日本語日本文化学科。

10/27(土)  
オープンキャンパス開催!

2013年4月スタート!  
文学部 音楽芸術学科

強く、優しく。



金城学院大学